

# 推計結果

～総人口は50年後に現在の7割に減少し、65歳以上人口はおよそ4割を占める。

前回推計よりも出生率は低下するものの、平均寿命が延伸し、外国人の入国超過増により人口減少の進行はわずかに緩和～

国立社会保障・人口問題研究所(2023)『日本の将来推計人口（令和5年推計）結果の概要』（URL[https://www.ipss.go.jp/ppzenkoku/j/zenkoku2023/pp\\_zenkoku2023.asp](https://www.ipss.go.jp/ppzenkoku/j/zenkoku2023/pp_zenkoku2023.asp)）

# 将来推計人口（令和5年推計）の概要

## <今回の推計のポイント>

- 前回推計より出生率が低下(1.44→1.36)
- 前回推計より平均寿命は延伸し、外国人の入国超過数も増加したことで、総人口の人口減少は緩和

## 将来推計人口(令和5年中位推計)の結果

※《 》内は高齢化率

日本の総人口		65歳以上人口		15～64歳人口		0～14歳人口	
<実績>	<今回推計>	前回推計	(参考)	前回推計	(参考)	前回推計	(参考)
2020年	2070年	2020年	2120年	2020年	2120年	2020年	2120年
1億2,615万人	→ 8,700万人	[ 8,323万人 ]	→ 4,973万人	3,603万人	→ 3,367万人	[ 3,188万人 ]	→ 2,011万人
				《28.6%》	《38.7%》	《38.3%》	《40.4%》
7,509万人	→ 4,535万人	[ 4,281万人 ]	→ 2,517万人	1,503万人	→ 797万人	[ 853万人 ]	→ 445万人

出生仮定を変えた場合の2070年の総人口、高齢化率

高位推計	(1.64)	9,549万人	(35.3%)
低位推計	(1.13)	8,024万人	(42.0%)

## 合計特殊出生率の仮定(中位)

(2015年)	(2020年)		(2070年)
1.45	→ 1.33	→	1.36 <1.44>
[1.43]	[1.31]		[1.29] <1.40>

※<>内は前回推計の仮定値、  
[]内は日本人女性の出生率

## 平均寿命の仮定(中位)

(2020年)		(2070年)	
男 81.58年	→	男 85.89年	<84.95年>
女 87.72年	→	女 91.94年	<91.35年>

## 外国人の入国超過数の仮定

(2016～2019年の平均)		(2041年以降は2040年の総人口に対する比率を固定)
年16万人	→	年16万人<7万人>

※ 長期の投影に際しては、コロナ禍におけるデータは除外

## 関係指標(出生、死亡とも中位、総人口)

- 高齢者数(65歳以上人口)のピーク(時期、数)**  
2043年 3,953万人(前回推計 2042年 3,935万人)
- 高齢化率(65歳以上人口割合)のピーク**  
緩やかに上昇を続け2070年に**38.7%**  
(前回推計 緩やかに上昇を続け2065年に38.4%)
- 総人口が1億人を下回る時期**  
**2056年** (前回推計 2053年)

# 将来人口年表（出生中位（死亡中位）推計）

推計時点で把握された人口動向に基づき将来投影した場合

【2020年】  
 総人口 1億2,615万人（高齢化28.6%）  
 総人口出生数86万件、総人口死亡数138万件  
 日本人出生数84万件、日本人死亡数137万件

年次	推計結果に基づく事象（カッコ内は前回推計）
2022	日本における出生が80万件を下回る（前回推計では2033年、以下同様）
2024	100歳以上人口が10万人を超える（2023年）
2027	65歳以上人口割合が30%を超える（2025年）
2031	日本における死亡が160万件を超える（2030年） 総人口の平均年齢が50歳を超える（2030年）
2032	15～64歳人口が7千万人を下回る（2029年）
2033	0～14歳人口が1千2百万人を下回る（2040年）
2035	18歳人口が100万人を下回る（2032年）
2038	（日本における日本人の出生が70万件を下回る（2043年））
2040	日本における死亡が167万件でピークを迎える（2039年、168万件）
2043	65歳以上人口が3千953万人でピークを迎える（2042年、3千935万人） 日本における出生が70万件を下回る（2046年）
2044	総人口が1億1千万人を下回る（2042年） 18歳人口が80万人を下回る（2052年）
2056	総人口が1億人を下回る（2053年）
2067	総人口が9千万人を下回る（2063年） 100歳以上人口が50万人に達し出生数を上回る（2063年に50万人）

日本の将来推計人口（令和5年推計）《結果および仮定の要約》  
 推計結果の要約（死亡中位推計）(p.13)

出生率仮定 [長期の合計特殊出生率]		中位仮定 [ 1.36 ]	高位仮定 [ 1.64 ]	低位仮定 [ 1.13 ]	平成29年推計 中位仮定 [ 1.44 ]
死亡率仮定 [長期の平均寿命]		死亡中位仮定 [男= 85.89 年] [女= 91.94 年]			男=84.95年 女=91.35年
国際人口移動仮定 [長期の日本人入国超過率] [長期の外国人入国超過数]		[2015～19年の平均水準] [2040年に 163,791 人]			[2010～15年の平均水準] [2035年に69,275人]
総 人 口	令和2(2020)年	12,615 万人 ↓	12,615 万人 ↓	12,615 万人 ↓	12,532万人 ↓
	令和47(2065)年	9,159 万人	9,885 万人	8,570 万人	8,808万人
	令和52(2070)年	8,700 万人	9,549 万人	8,024 万人	[ 8,323万人 ]
0 ～ 14 歳	令和2(2020)年	1,503 万人 11.9 %	1,503 万人 11.9 %	1,503 万人 11.9 %	1,507万人 12.0% ↓
	令和47(2065)年	836 万人 9.1 %	1,128 万人 11.4 %	620 万人 7.2 %	898万人 10.2%
	令和52(2070)年	797 万人 9.2 %	1,115 万人 11.7 %	569 万人 7.1 %	[ 853万人 ] [ 10.2% ]
15 ～ 65 歳	令和2(2020)年	7,509 万人 59.5 %	7,509 万人 59.5 %	7,509 万人 59.5 %	7,406万人 59.1% ↓
	令和47(2065)年	4,809 万人 52.5 %	5,244 万人 53.0 %	4,437 万人 51.8 %	4,529万人 51.4%
	令和52(2070)年	4,535 万人 52.1 %	5,067 万人 53.1 %	4,087 万人 50.9 %	[ 4,281万人 ] [ 51.4% ]
65 歳 以 上	令和2(2020)年	3,603 万人 28.6 %	3,603 万人 28.6 %	3,603 万人 28.6 %	3,619万人 28.9% ↓
	令和47(2065)年	3,513 万人 38.4 %	3,513 万人 35.5 %	3,513 万人 41.0 %	3,381万人 38.4%
	令和52(2070)年	3,367 万人 38.7 %	3,367 万人 35.3 %	3,367 万人 42.0 %	[ 3,188万人 ] [ 38.3% ]

注：平成29年推計の令和52(2070)年の数値（括弧内）は長期参考推計結果による。

# 基本推計

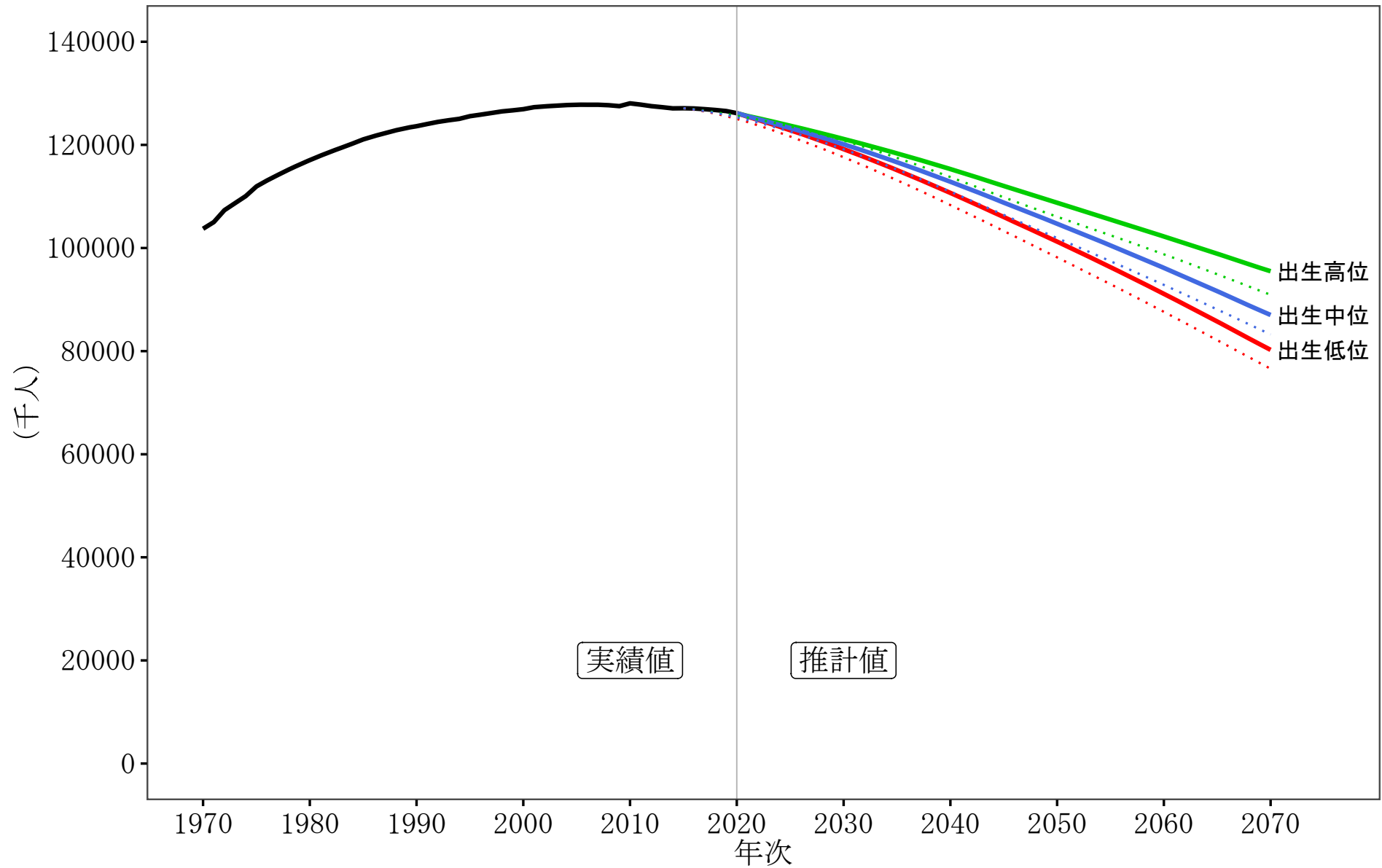
総人口の推移

出生 3 仮定 x 死亡 3 仮定の 9 水準の推計結果

# 総人口の推移

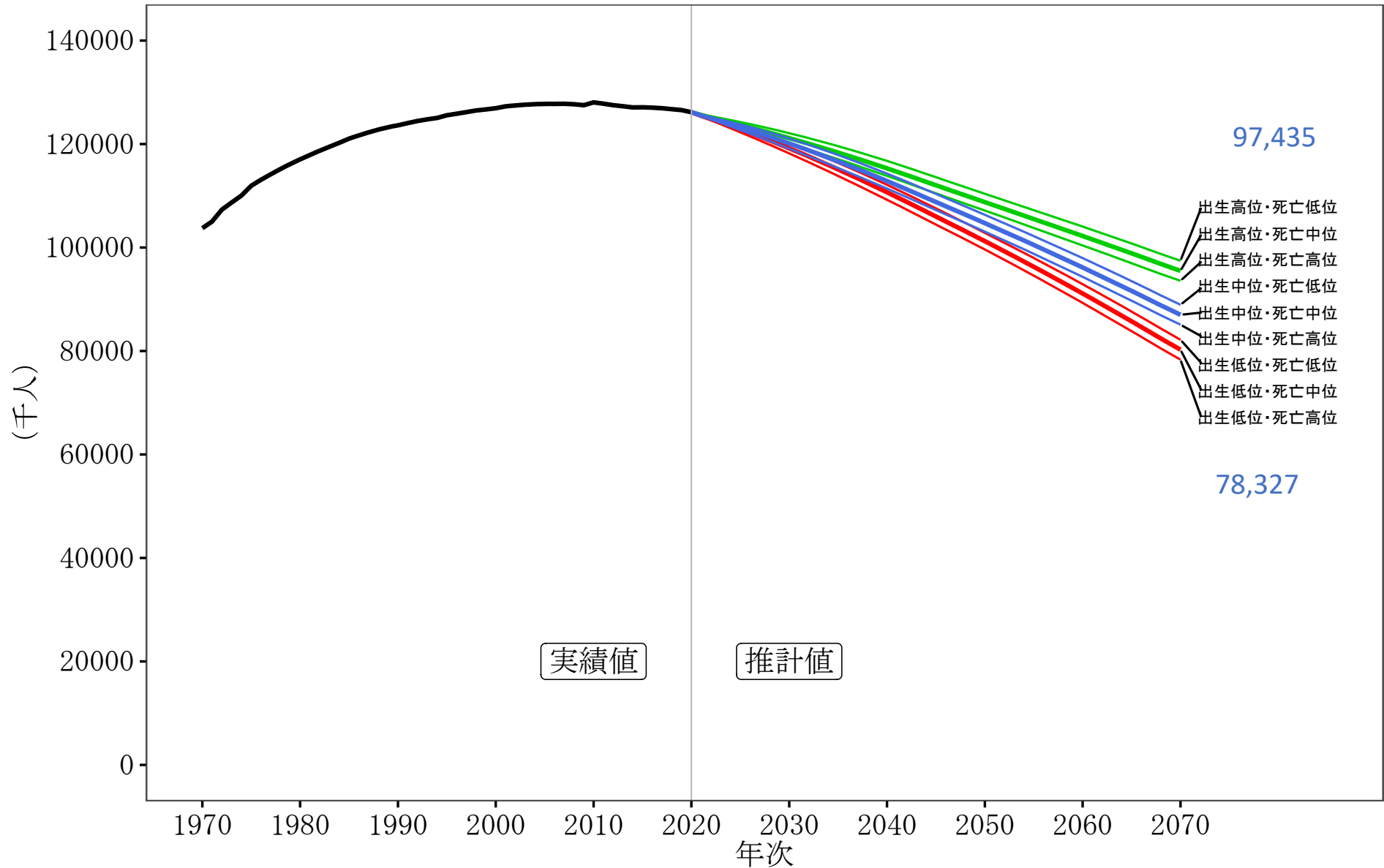
- 総人口は、令和2(2020)年国勢調査による1億2,615万人が2070年には8,700万人に減少すると推計(出生中位・死亡中位推計、以下同様)(p.19, 表1-1、p.26, 図1-1)。
- 前回推計と2065年時点で比較すると、総人口は8,808万人が9,159万人になる。総人口が1億人を下回る時期は2053年が2056年になり、人口減少の速度はわずかに緩む(p.13、p.19, 表1-1)。
- 2070年の総人口は、出生が高位仮定(1.64)の場合9,549万人、低位仮定(1.13)の場合、8,024万人(p.20~21, 表1-2~1-3、p.26, 図1-1~1-2)。

# 総人口の推移



実線は今回推計、破線は前回推計。

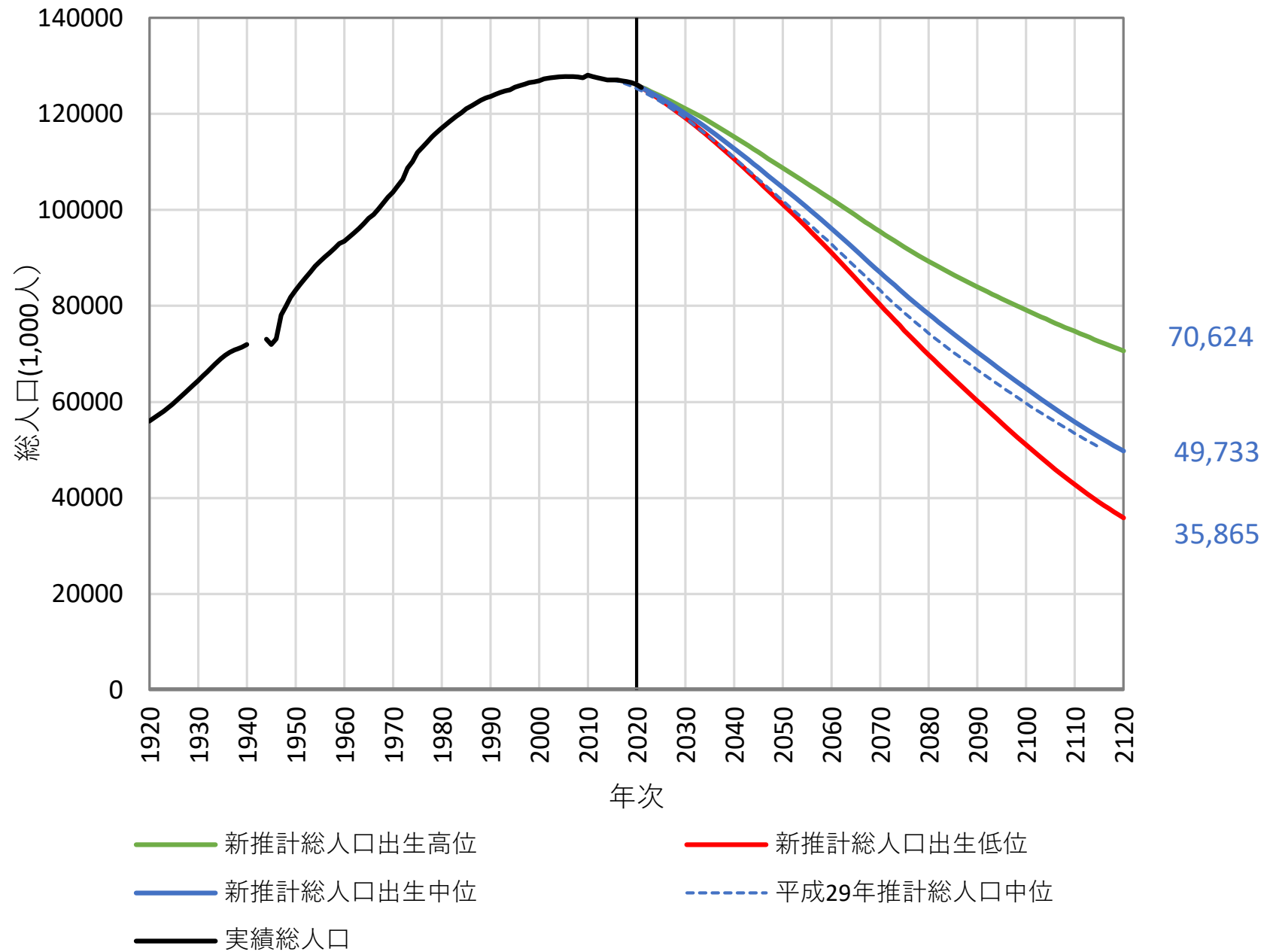
# 出生仮定・死亡仮定による推移の違い



実線は今回推計、破線は前回推計。



# (参考推計) 長期参考推計 (2021 ~ 2120年) 総人口

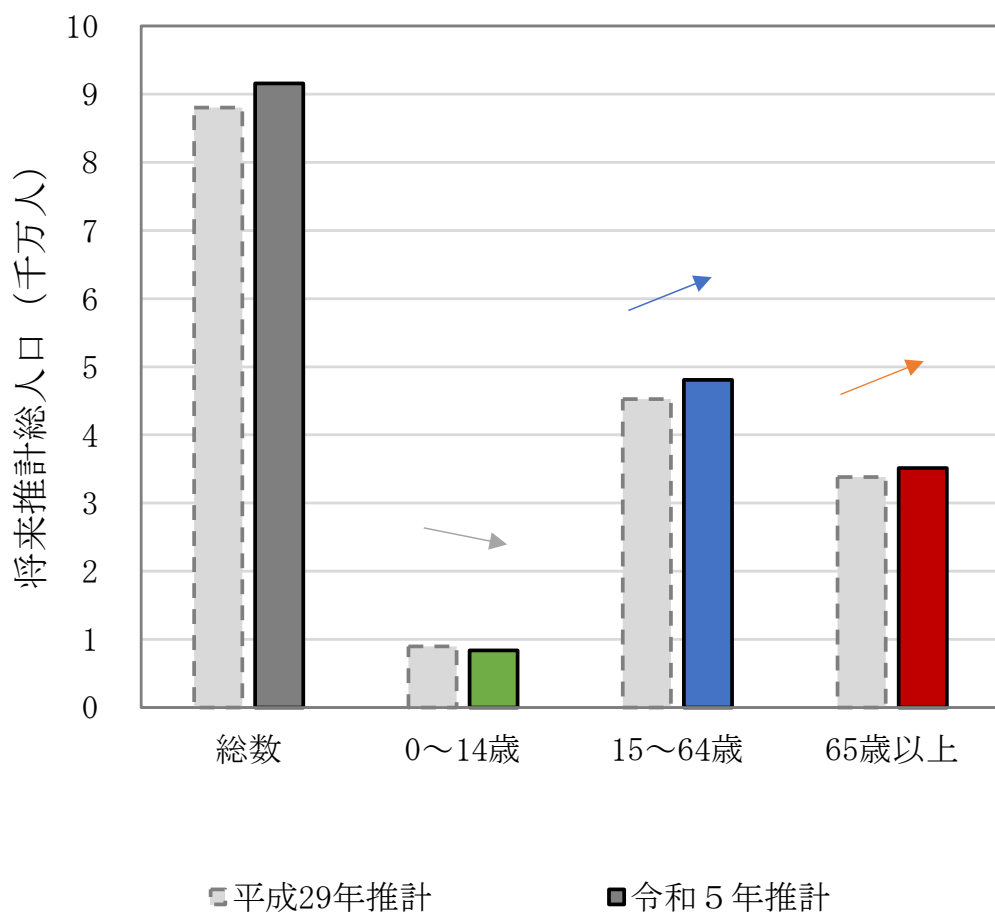


# 基本推計

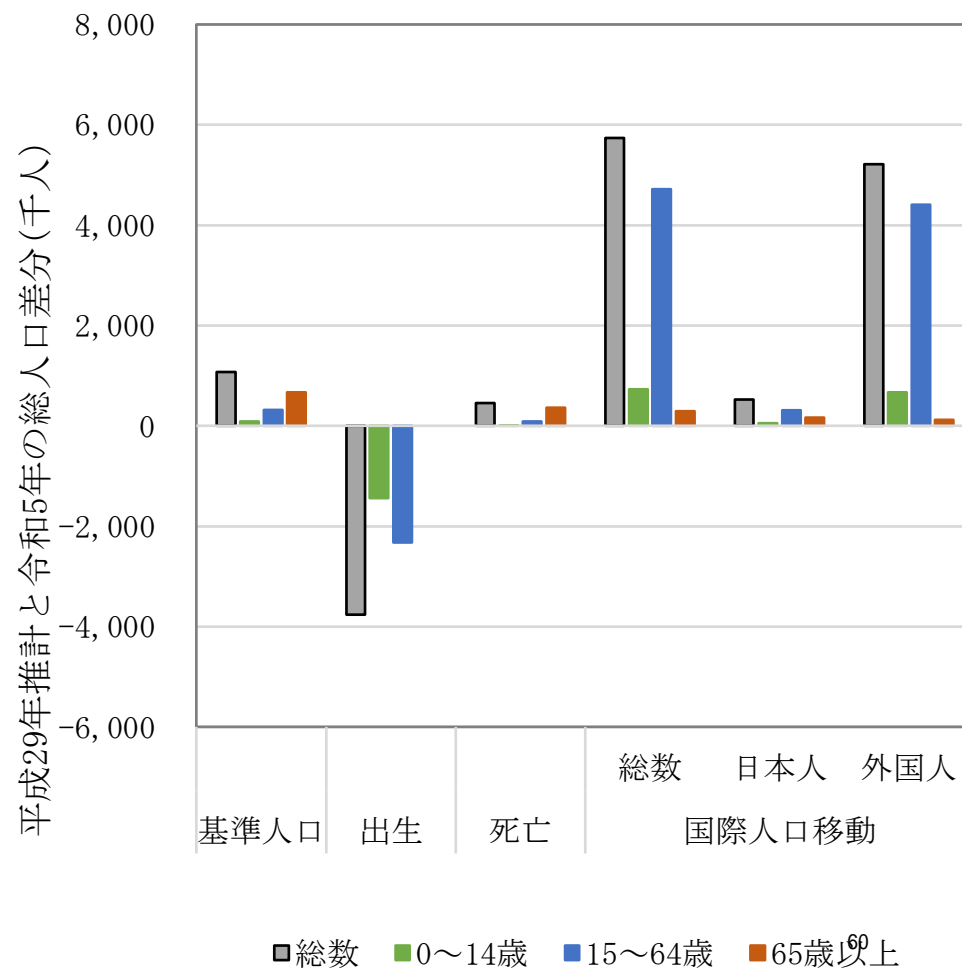
総人口：前回推計との比較

- 0～14歳人口の減少には、出生仮定がマイナスに寄与、外国人の国際人口移動仮定がプラスに寄与
- 15～64歳人口の増加には、出生仮定はマイナスに寄与、外国人の国際人口移動仮定がプラスに寄与
- 65歳以上人口の増加には、基準人口、死亡仮定、日本人の国際人口移動仮定がプラスに寄与

## 総人口（2065年）



## 差分の要因分解（2065年）



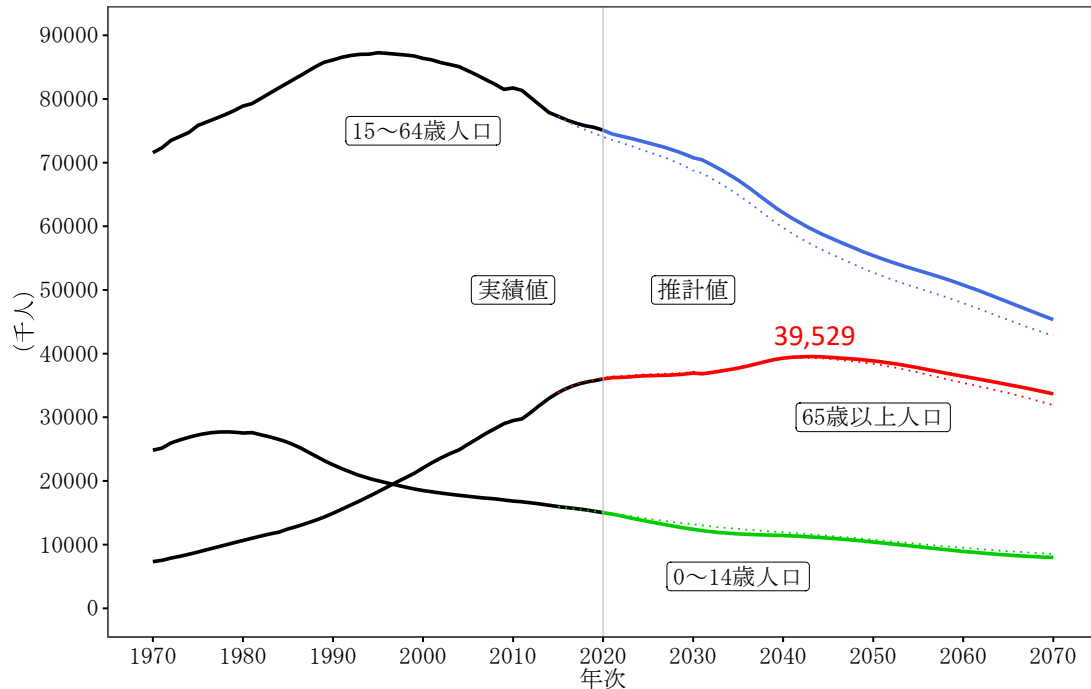
# 基本推計

## 年齢構造

## 65歳以上人口

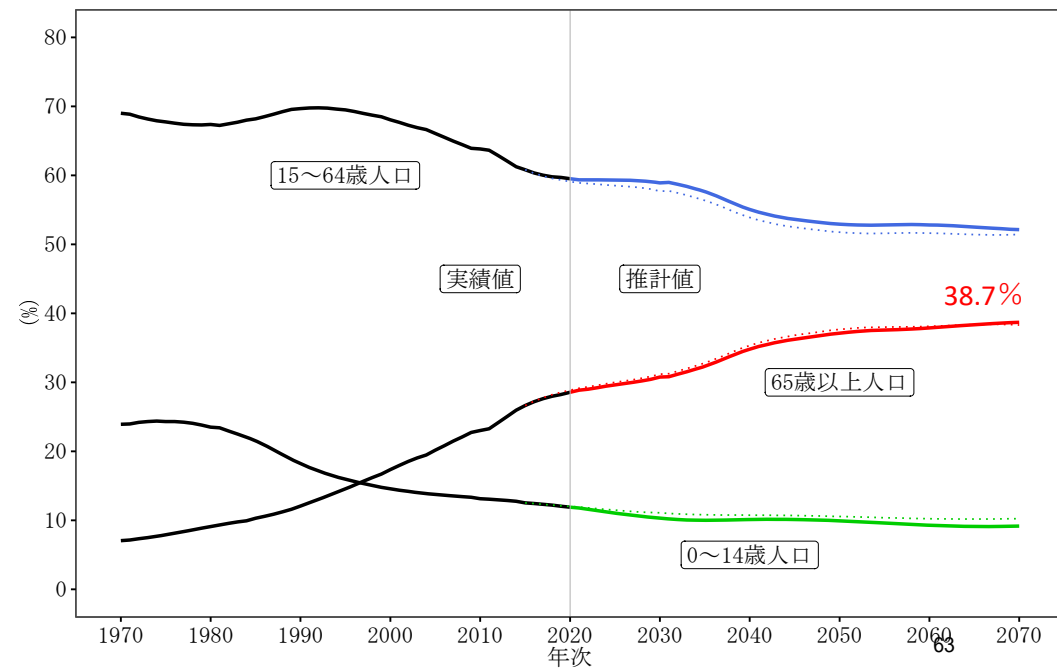
- 総人口に占める65歳以上の人口の割合（高齢化率）は、2020年の28.6%から2070年には38.7%へと上昇(p.19, 表1-1、 p.26, 図1-2)。
- 65歳以上の人口（高齢者数）のピークは、前回の2042年で3.935万人が、今回の2043年で3,953万人に(p.19, 表1-1)。
- 前回推計と2065年時点で比較すると、65歳以上人口割合はともに38.4%で変わらず(p.13、 p.19, 表1-1)。
- 2070年の65歳以上人口割合（高齢化率）は、出生が高位仮定(1.64)の場合35.3%、低位仮定(1.13)の場合、42.0%(p.20～21, 表1-2～1-3、 p.26, 図1-1～1-2)。
- 老年人口指数（15～64歳人口100に対する65歳以上人口の比）は、2020年の48.0から2070年には74.2と推計される（p.22, 表1-4）。

# 年齢3区分別人口の推移：出生中位（死亡中位）推計



破線は前回中位推計。

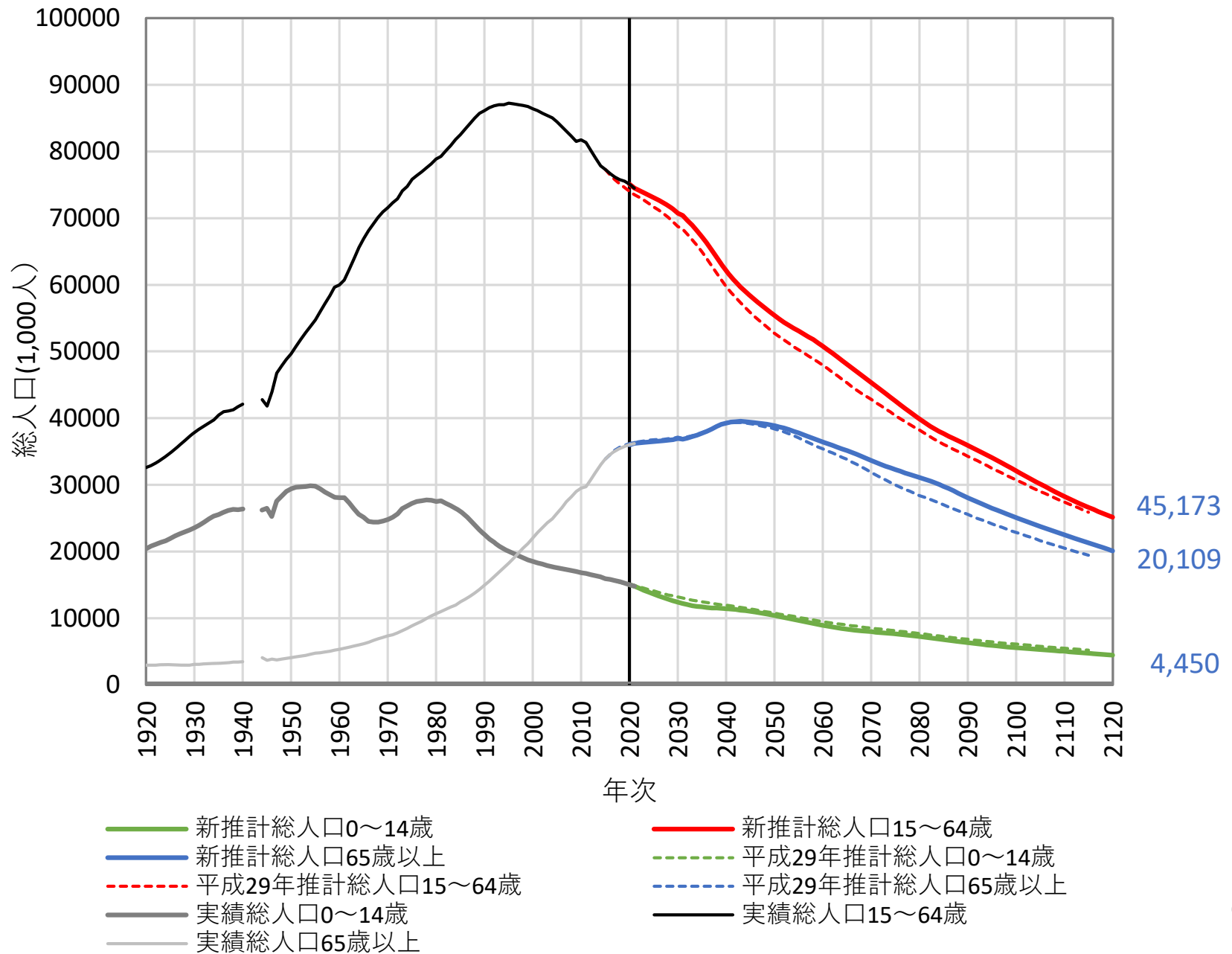
# 年齢3区分別人口割合の推移：出生中位（死亡中位）推計



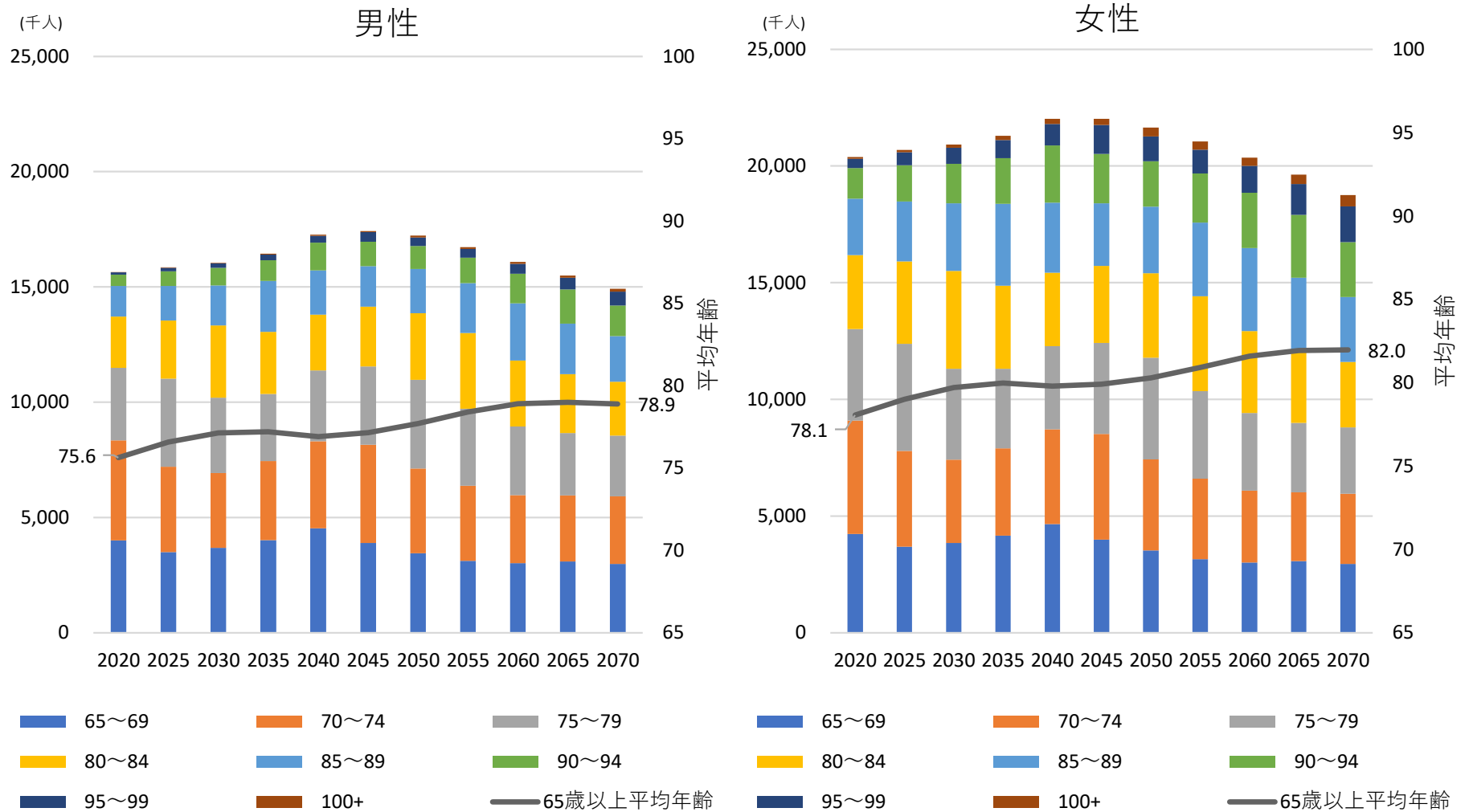
破線は前回中位推計。

高齢者割合は上昇を続けるが、65歳以上人口のピークは2040年代半ば。

# (参考推計) 長期参考推計(2021~2120年) 年齢3区分別人口



# 65歳以上人口（年齢構成と平均年齢） 進む高齢者の高齢化



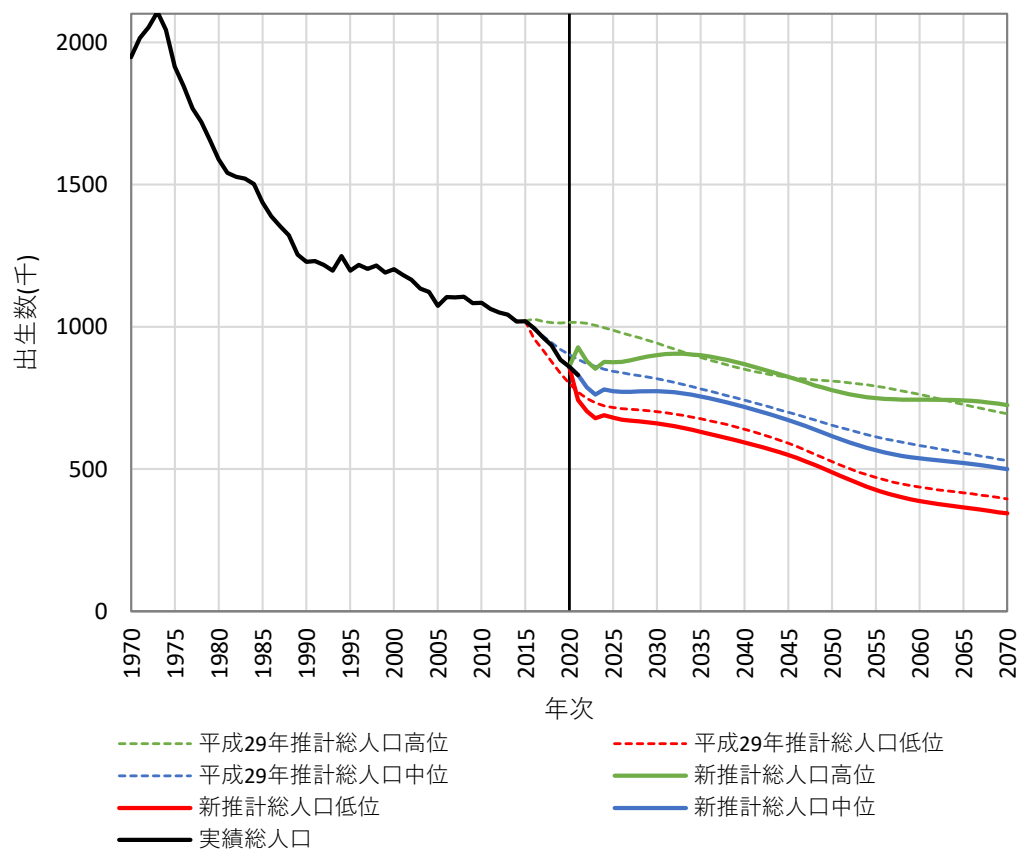


# 基本推計

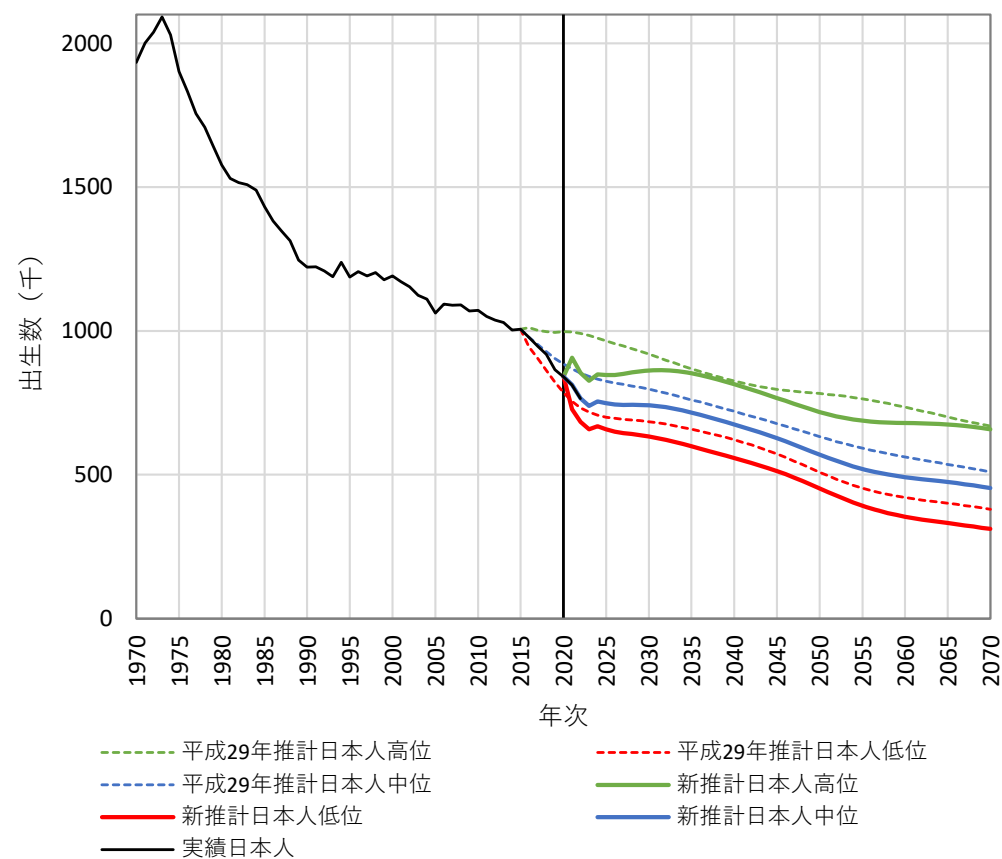
人口動態数 ・ 出生 ・ 死亡 ・ 国際人口移動

# 出生数（日本における出生、日本における日本人の出生）

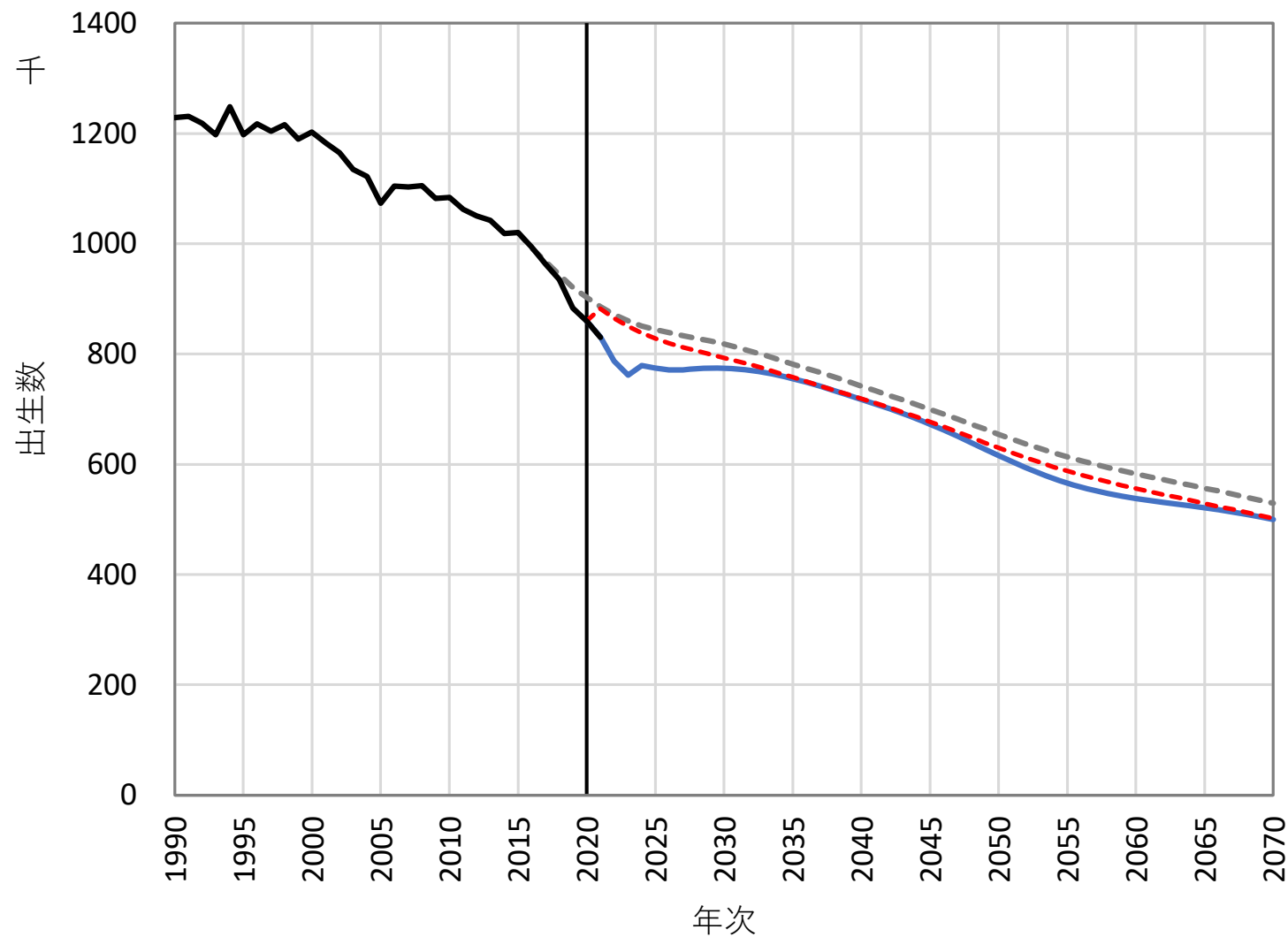
日本における出生



日本における日本人の出生



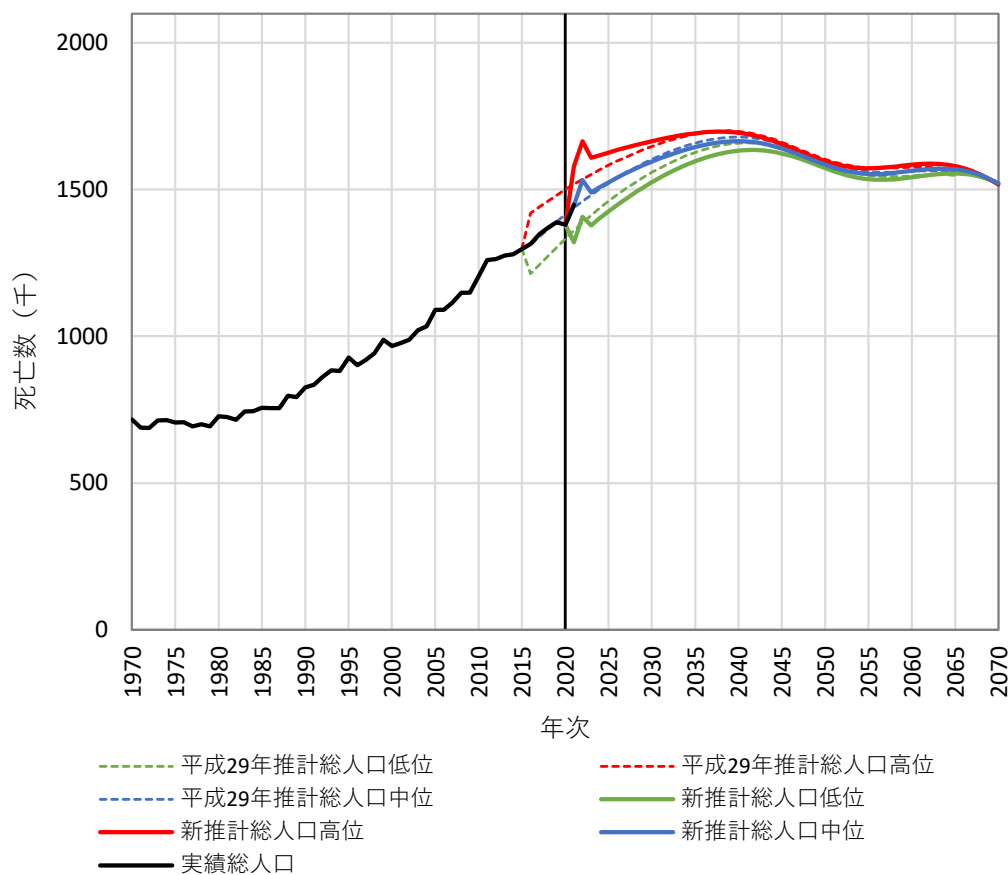
(参考) 前回出生中位 (死亡中位) 推計、**コロナ禍における実績値を反映する前の出生数**、**今回出生中位 (死亡中位) 推計**



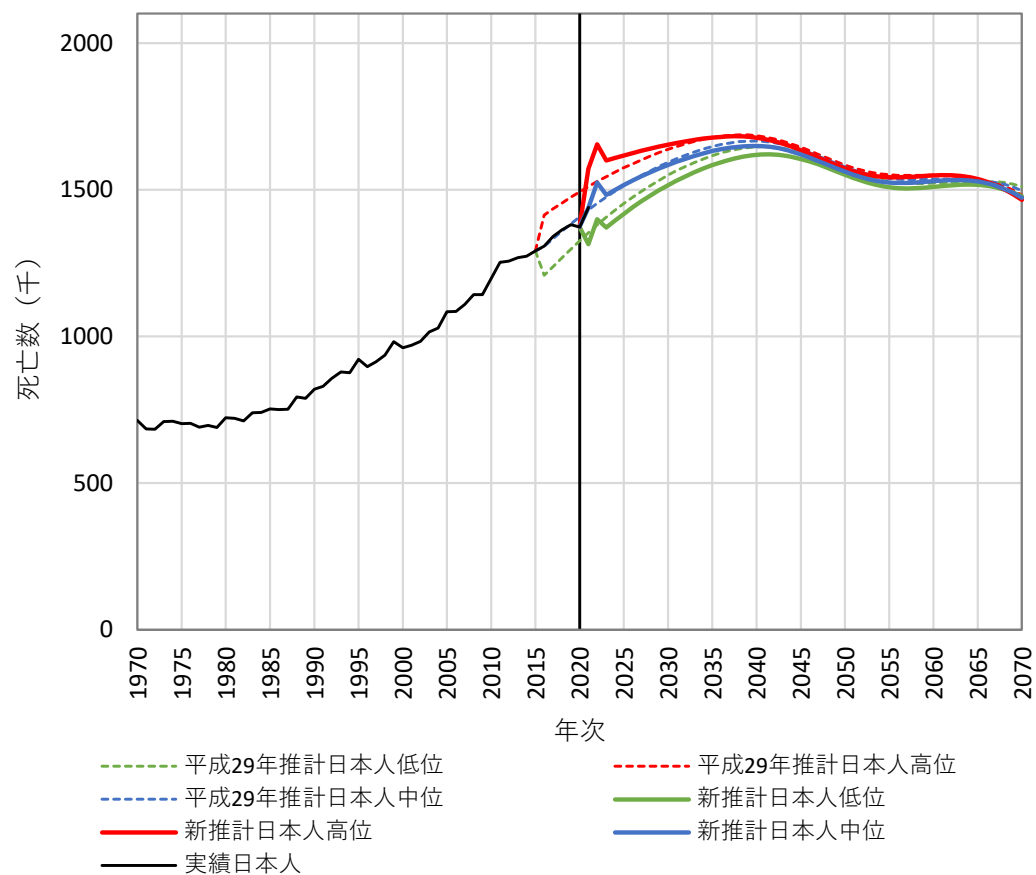
- - - 平成29年推計総人口中位      — 新推計総人口中位  
 - . - . 新推計総人口中位コロナなし      — 実績総人口

# 死亡数（日本における死亡、日本における日本人の死亡）

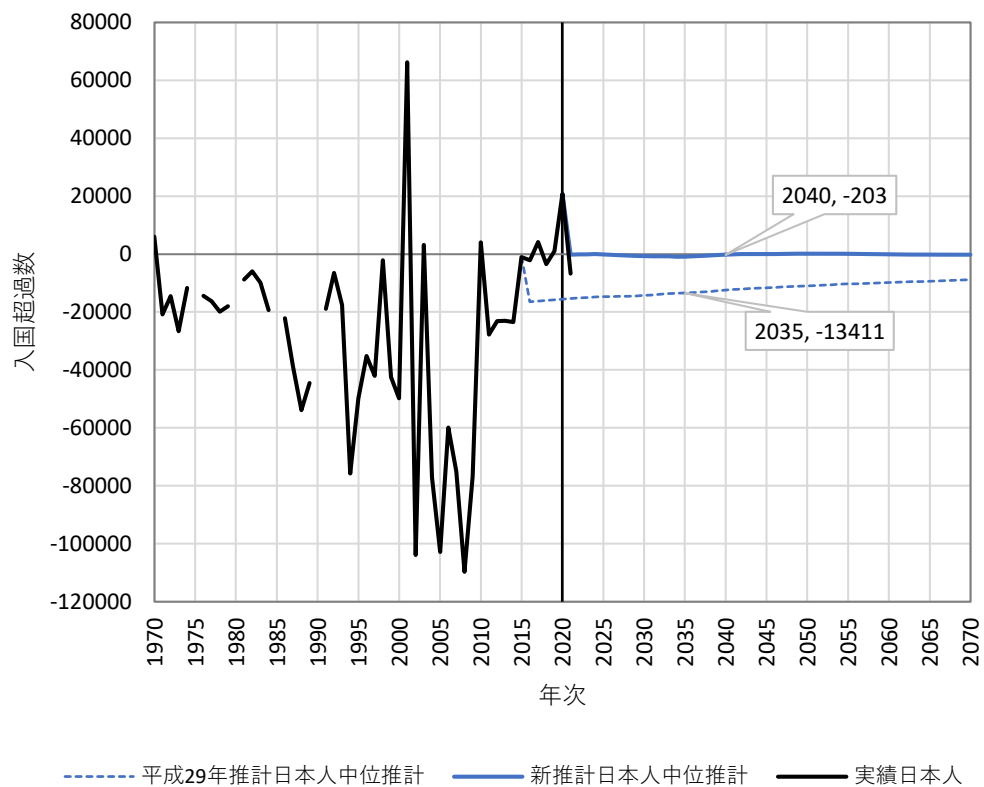
日本における死亡



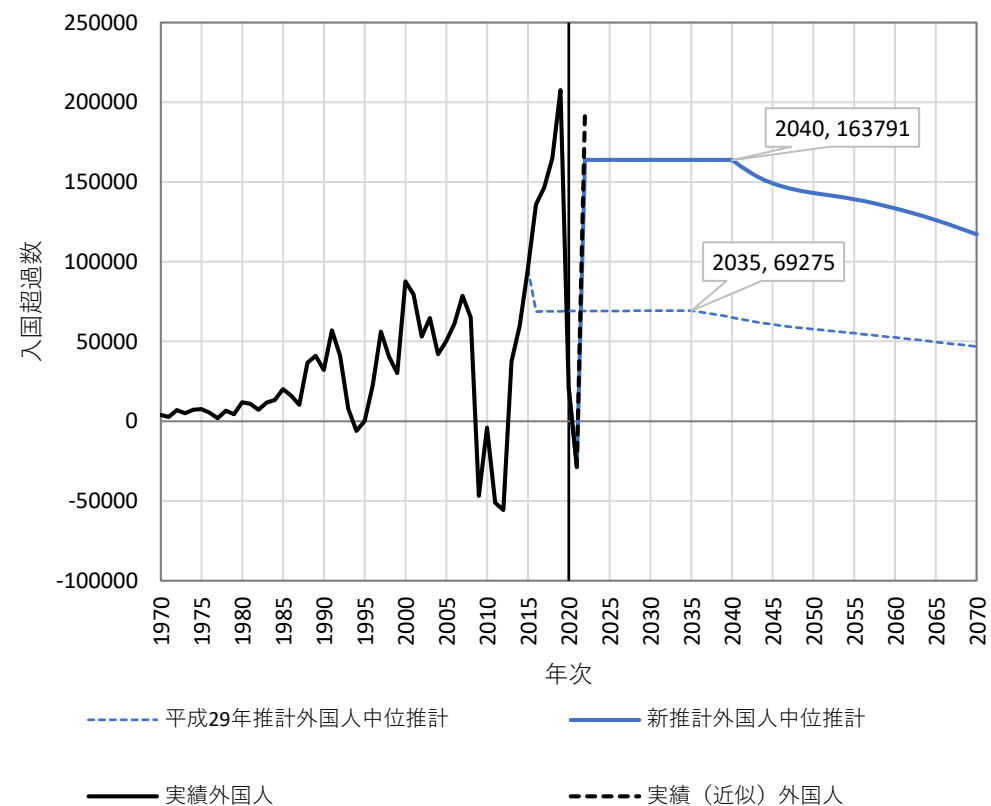
日本における日本人の死亡



## 日本人の入国超過数（出生中位（死亡中位））



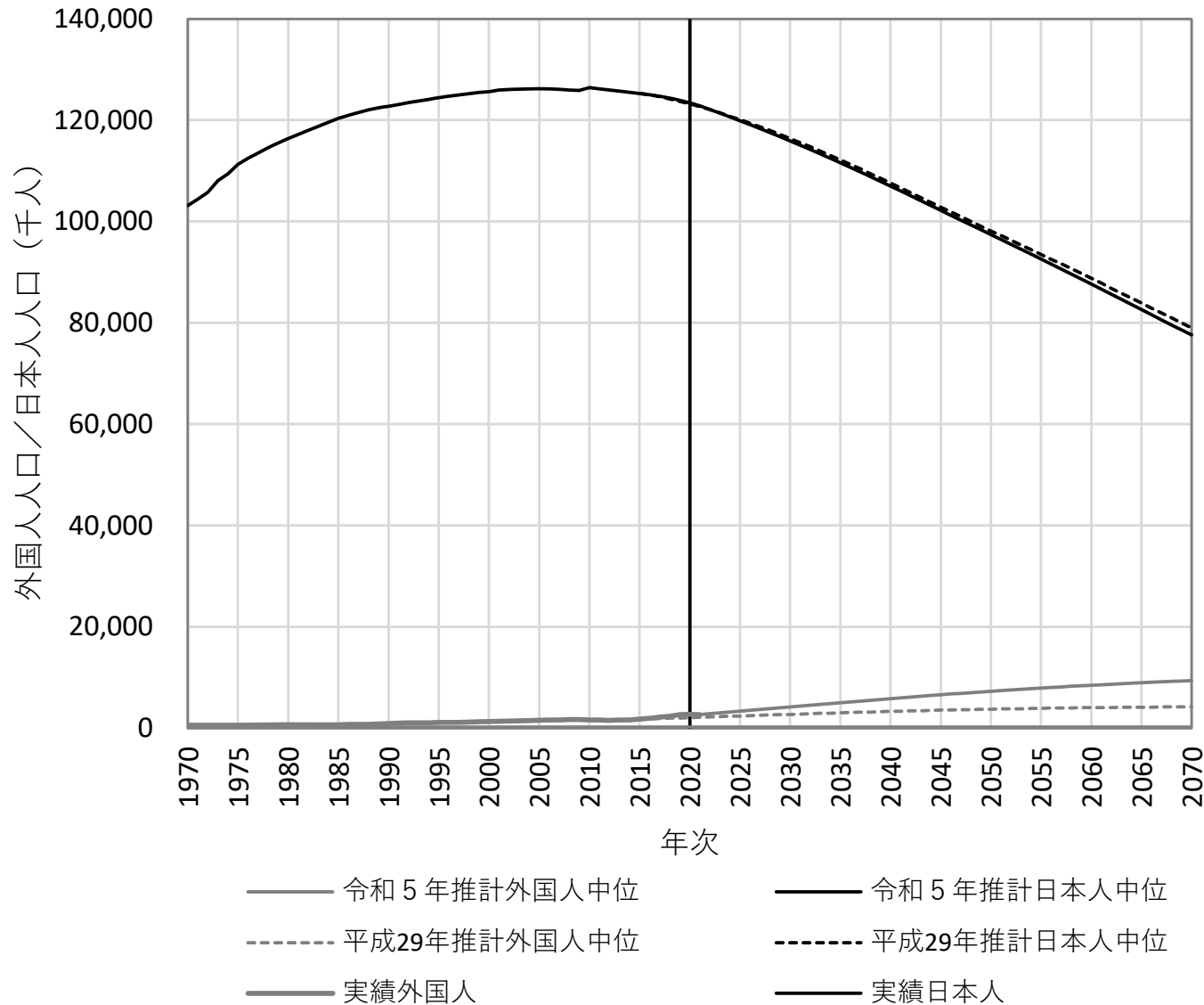
## 外国人の入国超過数（出生中位（死亡中位））



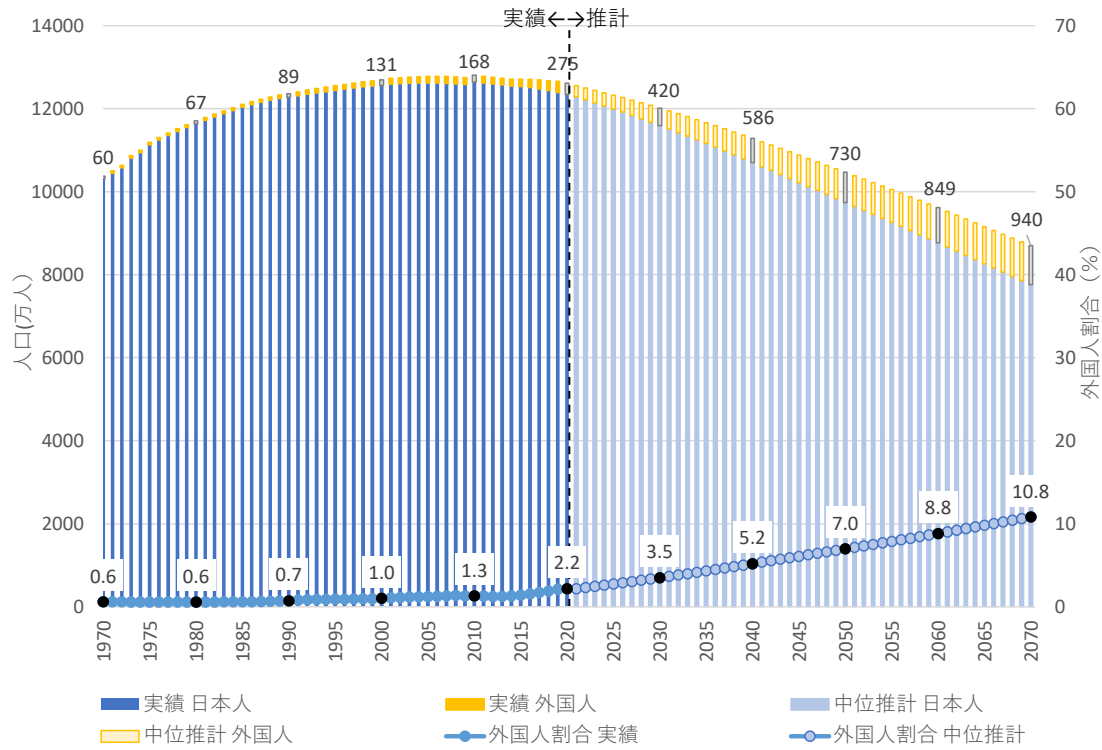
# 日本人（外国人）人口参考推計

日本人人口に限定した参考推計（出生中位・死亡中位推計）では、2070年の日本人人口は7,761万人、65歳以上人口割合は40.9%（p.59, 日本人参考推計表1、p.61, 日本人参考推計図1～2）

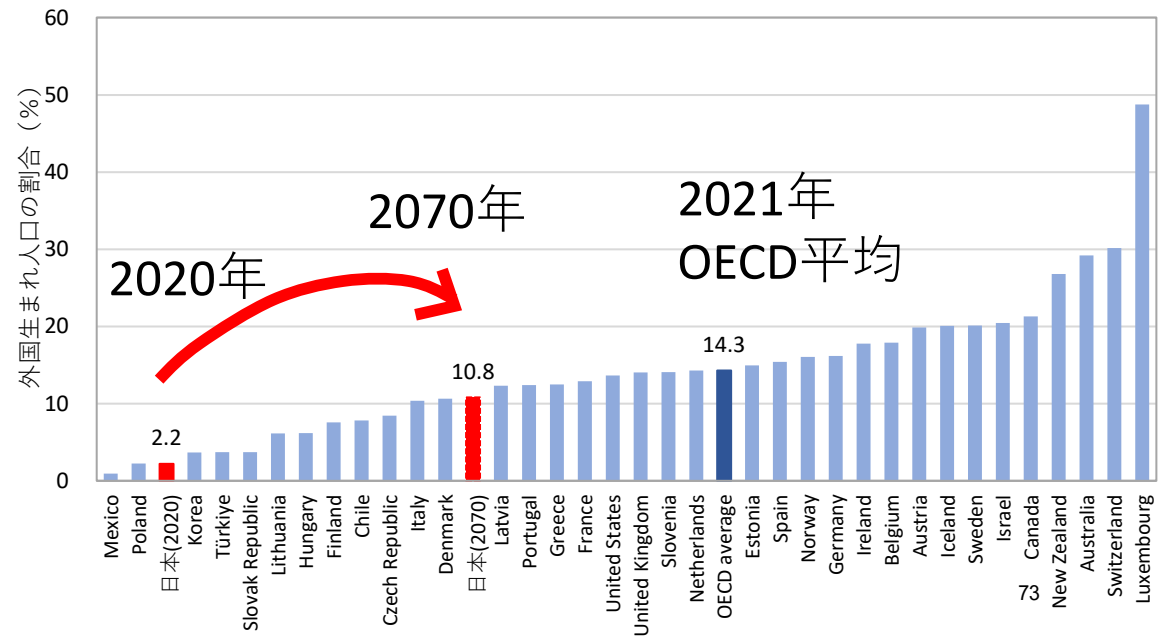
## 日本人人口と外国人人口



# (参考推計) 日本人及び外国人人口の推移と将来推計

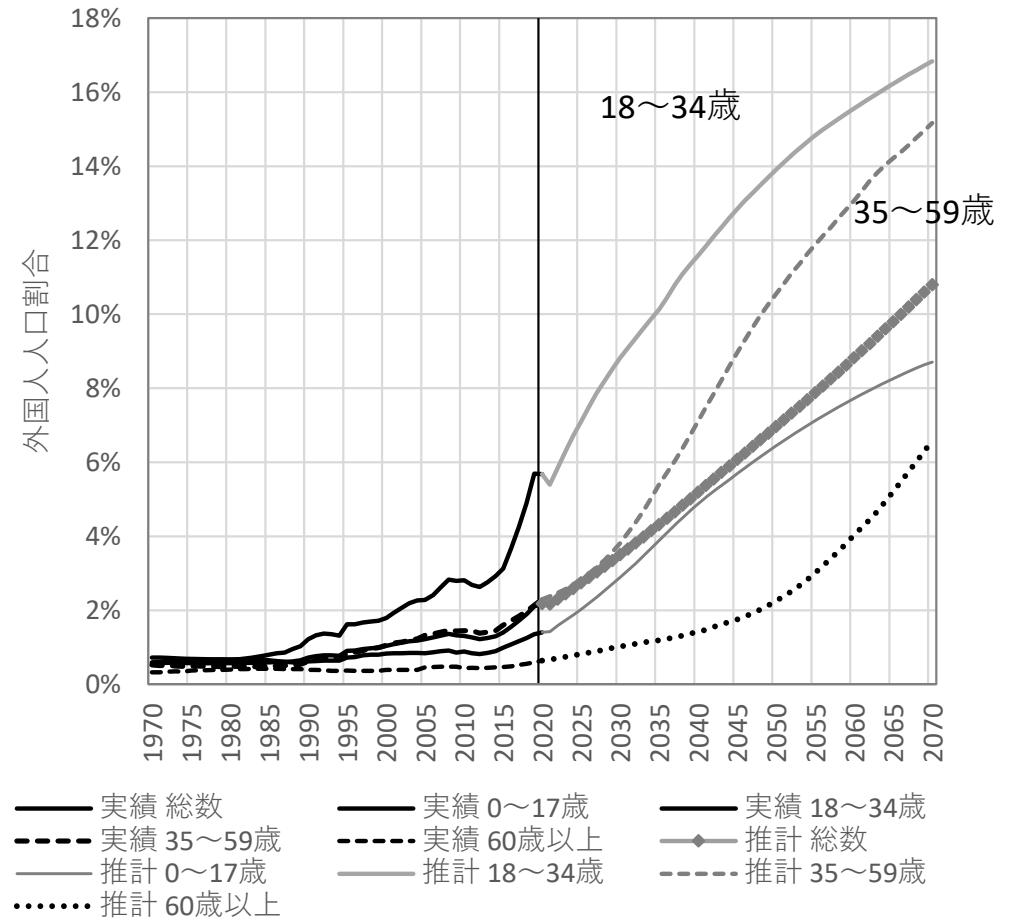
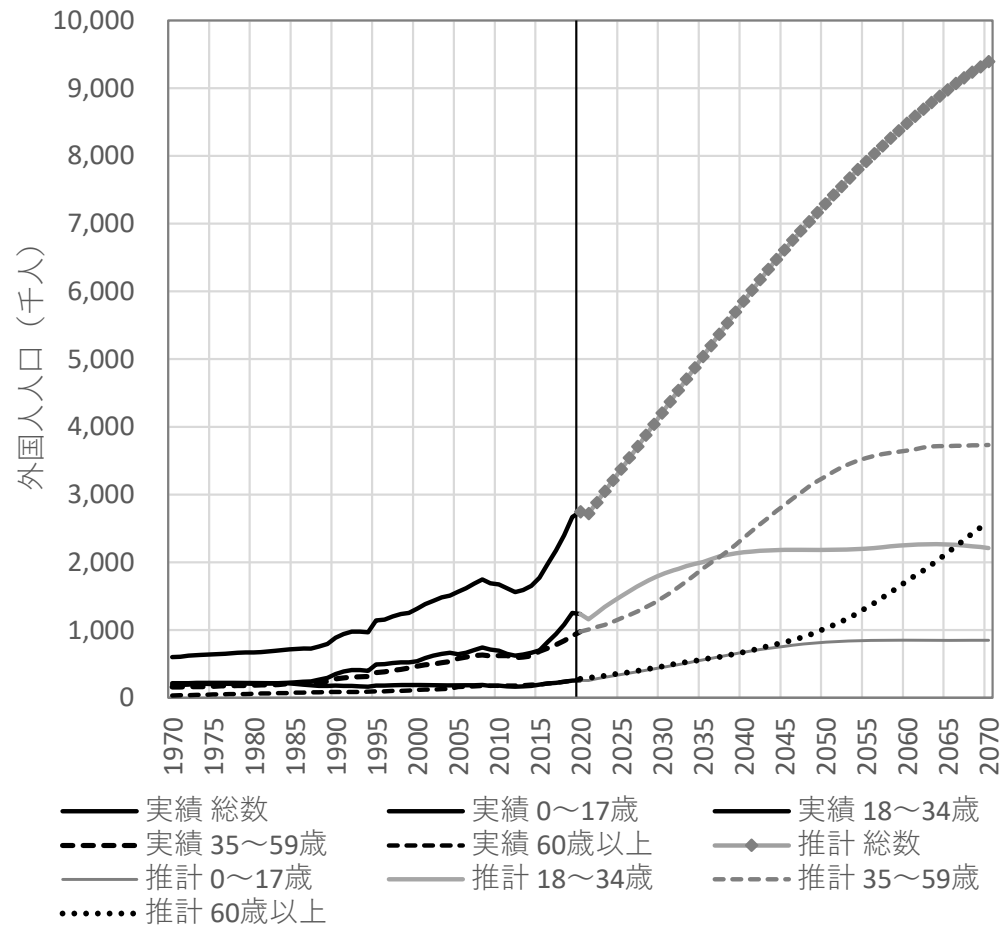


OECD諸国における外国人（外国生まれ）人口の割合（2021）および日本における外国人人口の割合（2020年、2070年）





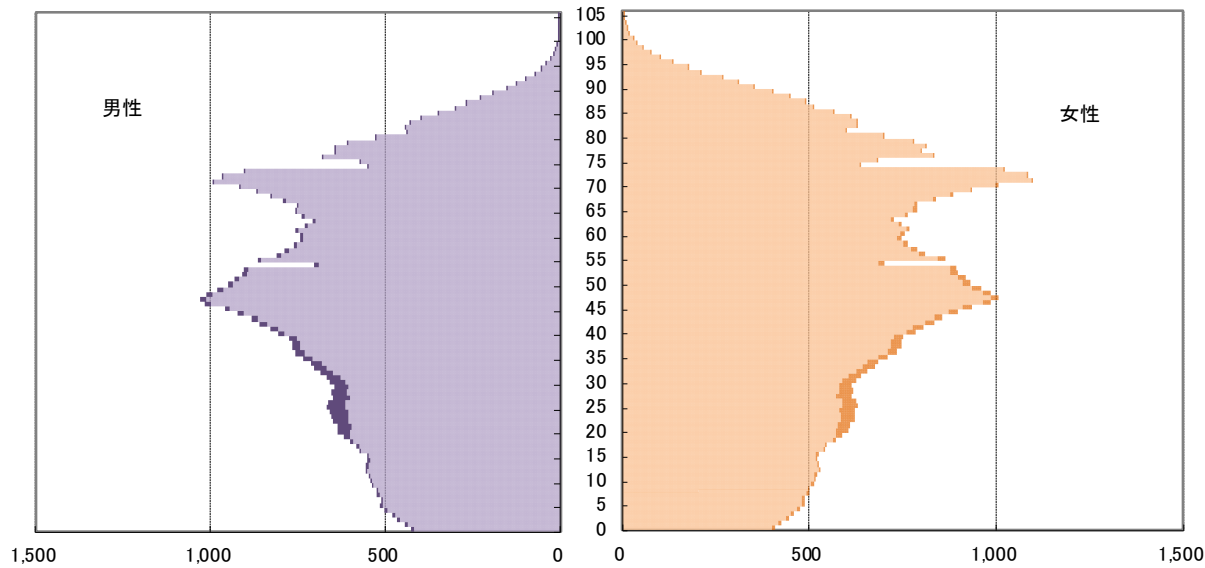
# 年齢層別にみた外国人人口(左) と総人口に占める割合(右)



# 国籍別にみた人口ピラミッド (2020年、2070年)

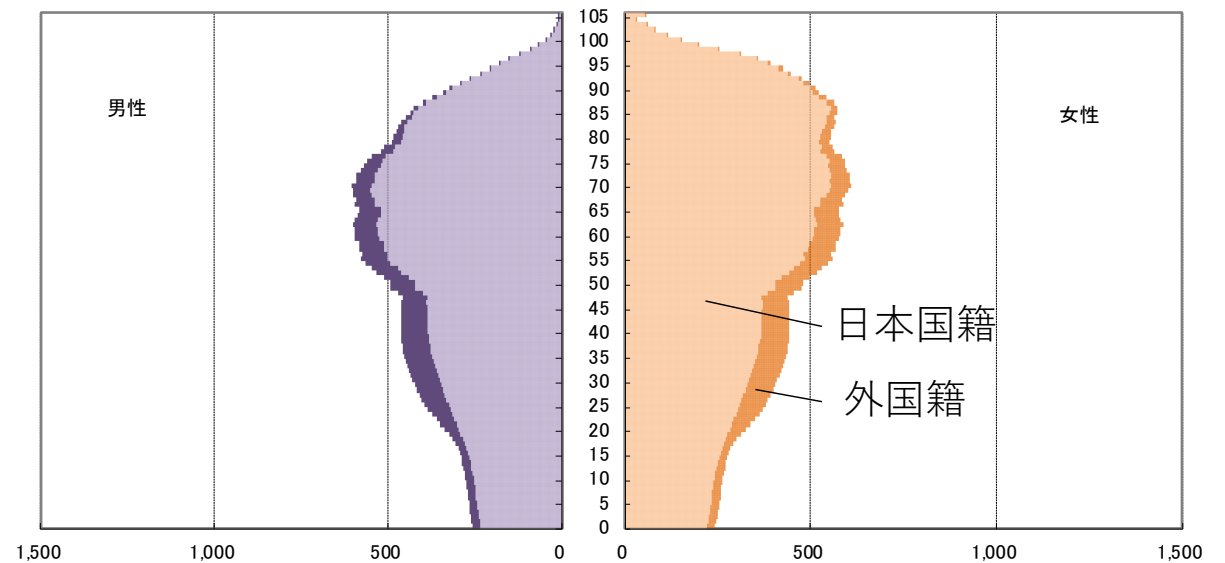
2020年

(単位:1,000人)



2070年

(単位:1,000人)



移民的背景人口(両親のいずれかが外国籍など)を加えると、エスニシティの多様化はさらに進む。

総務省統計局『国勢調査報告』および国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』(令和5年推計)による。

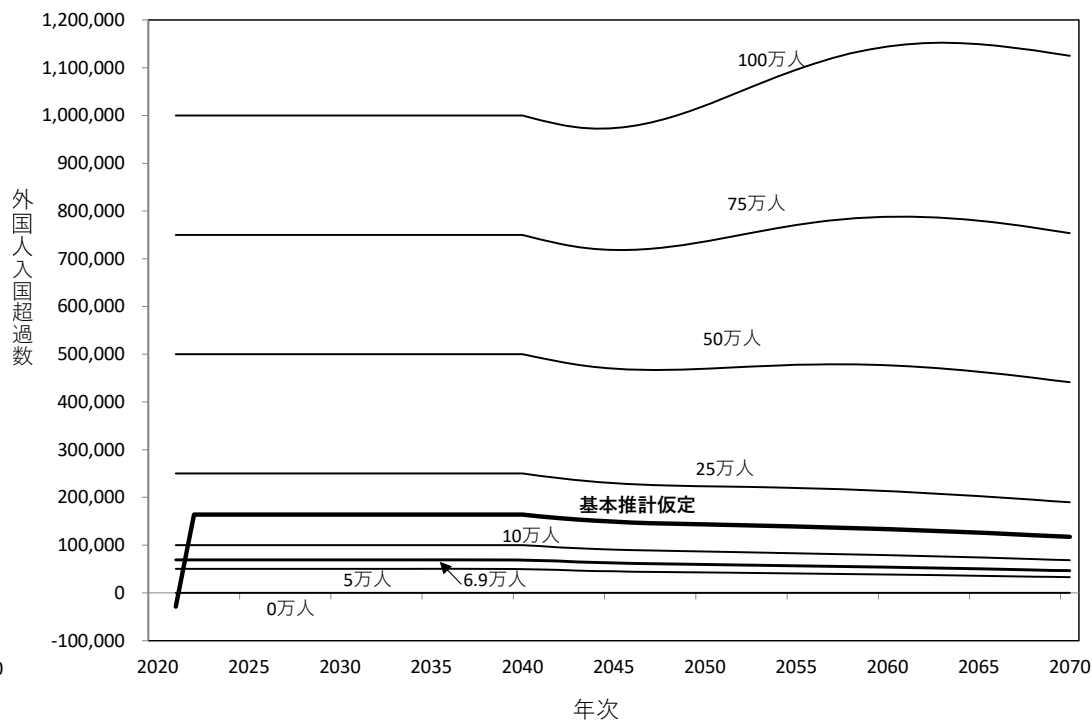
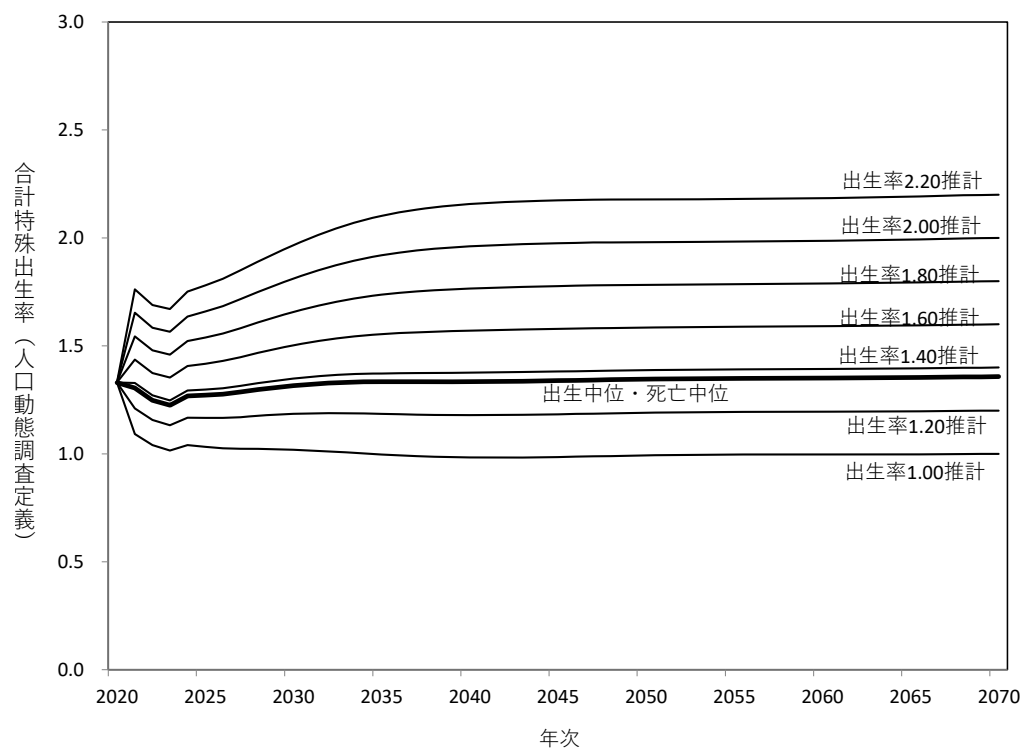
# 条件付推計（出生、国際人口移動）

前回（平成29（2017）年）推計と同様に、出生率や外国人の国際人口移動の仮定値を機械的に変化させた場合の条件付推計も別途実施。様々な仮定における将来の人口の姿を確認することができる。

## 条件付推計及びその手法について

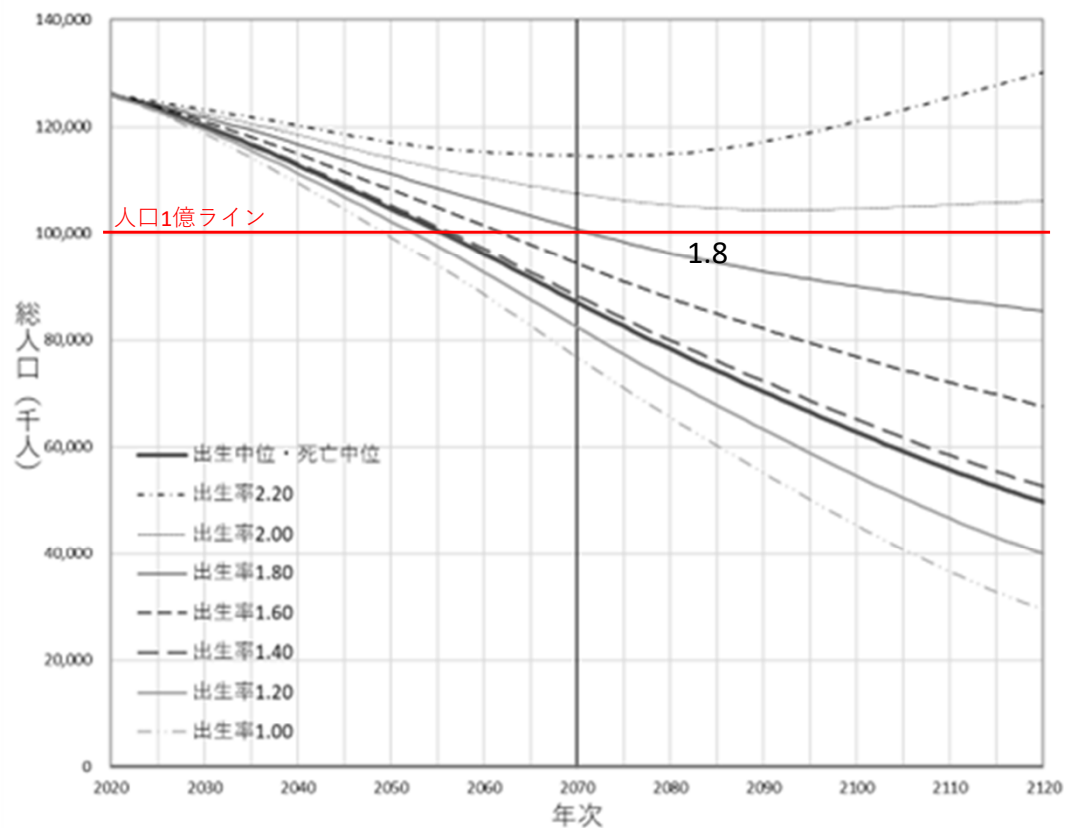
1. 今回の概要版に附した条件付推計は、「感応度分析」と呼ばれるシミュレーションであり、出生率と外国人の国際人口移動の水準が様々に変化した場合に対応した将来人口に関する反実仮想シミュレーションを行ったものである。
2. シミュレーションに用いた手法は以下の通りである。まず、出生率については、基本推計の中位・高位・低位の3仮定を用い、各年における3仮定の年齢別出生率を線形補間（補外）することによって年齢別出生率を作成することとした。出生率の水準については、2070年における合計特殊出生率（人口動態調査と同定義）が1.00, 1.20, 1.40, 1.60, 1.80, 2.00, 2.20となるような線形補間（補外）比を求め、これを固定して他の年次にも適用することとした。
3. 外国人の移動仮定については、基本推計における2040年における年間の入国超過数が約16.4万人であることから、この時点における入国超過数について0万人、5万人、6.9万人（前回推計の外国人入国超過数の2035年における水準）、10万人、25万人、50万人、75万人、100万人となるような比率を求め、これを2040年まで固定した。なお、2040年以降は基本推計で行っているのと同様、2040年の性、年齢別入国超過率（ただし日本人・外国人を合わせた総人口を分母とする）を求め、2041年以降はその率が一定となるものとして推計を行った。

(参考推計／感応度分析)  
 出生7水準（左）と外国人入国超過数仮定（右）

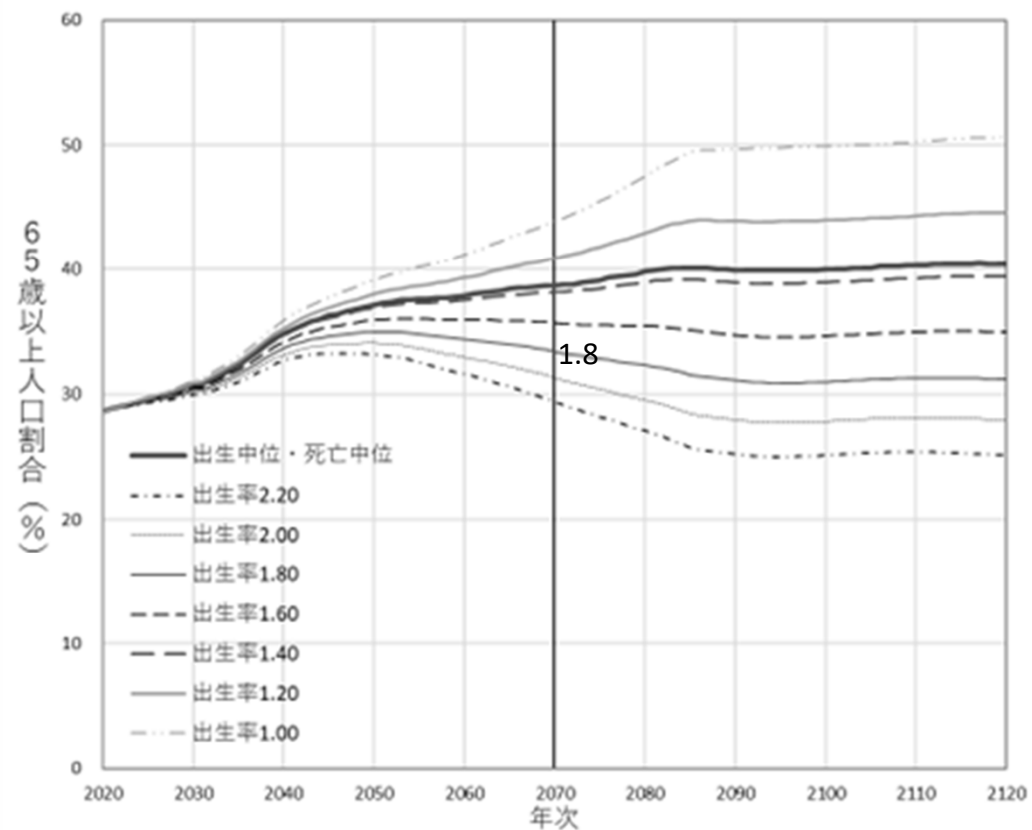


# (参考推計／感応度分析) 条件付推計：出生7水準と中位推計

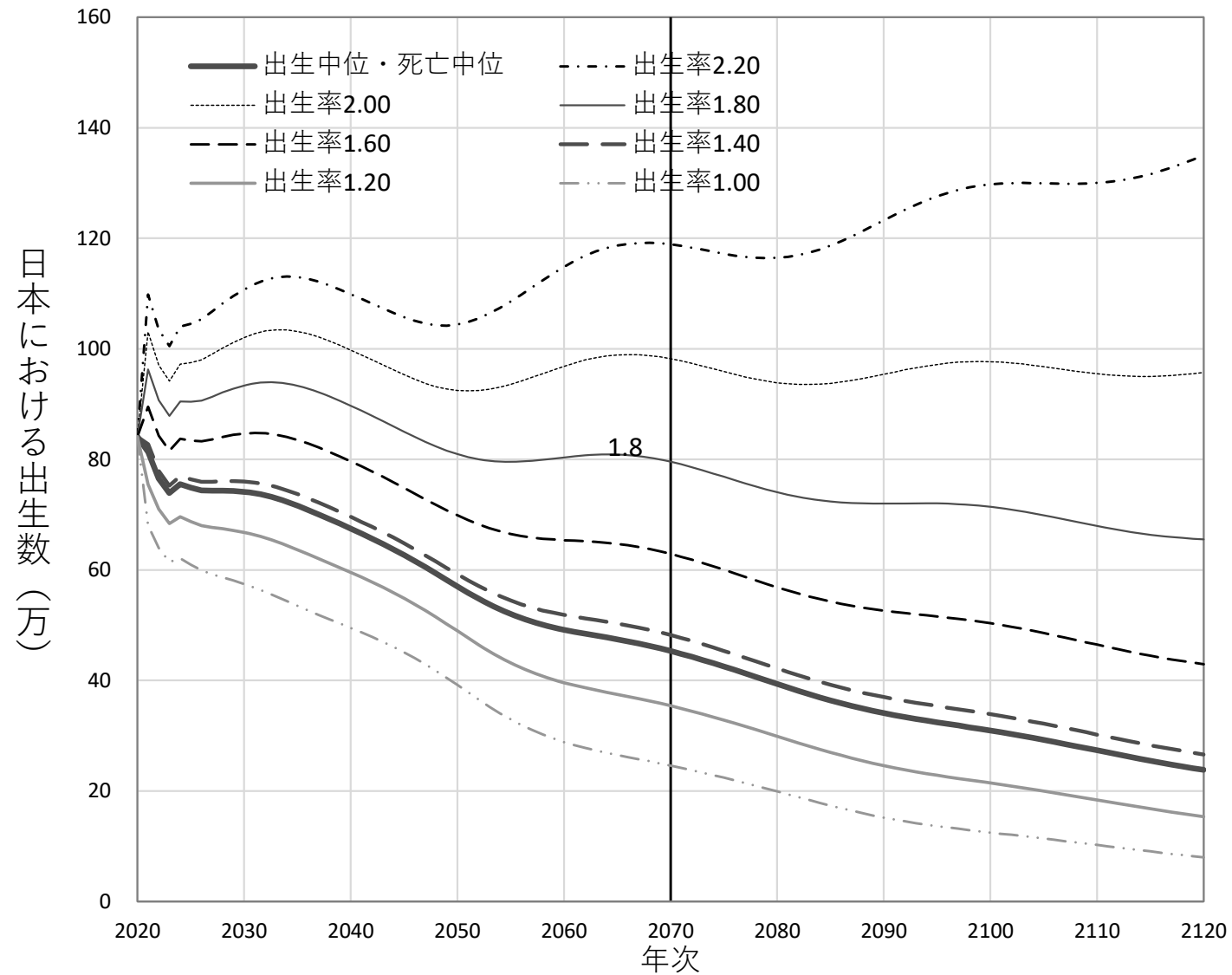
## 総人口の将来見通し



## 65歳以上人口割合の将来見通し

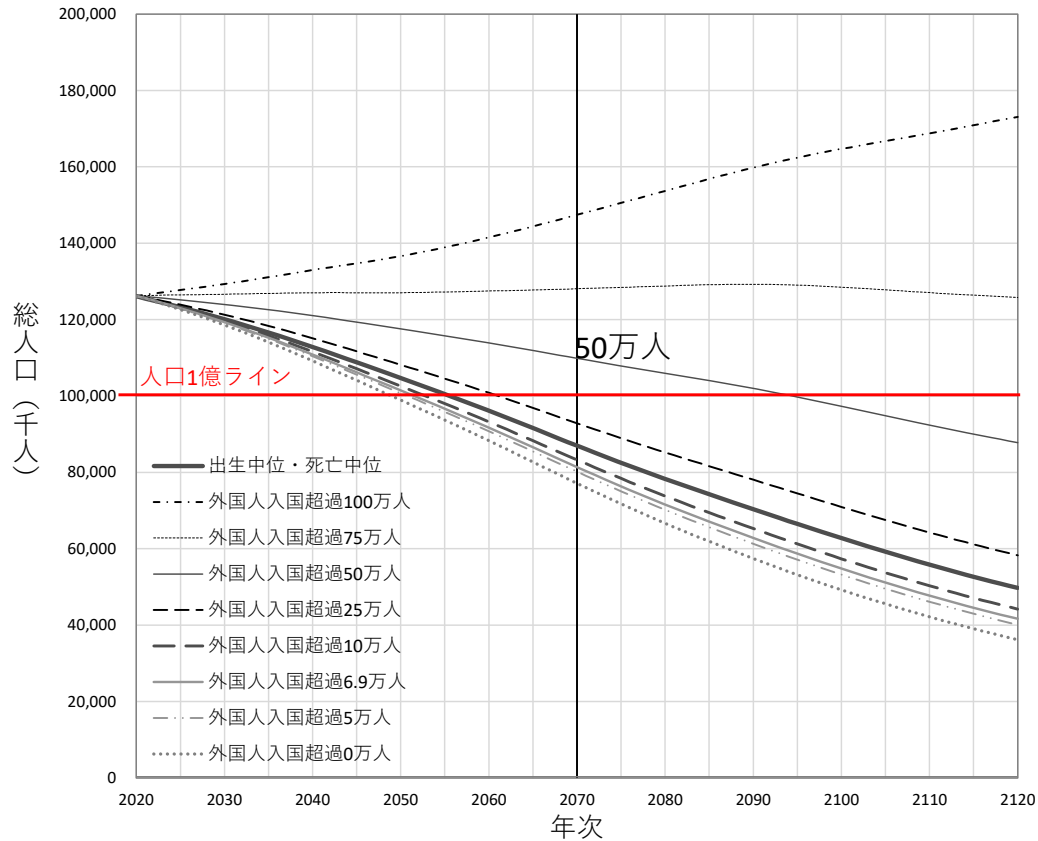


# (参考推計／感応度分析) 日本における出生数

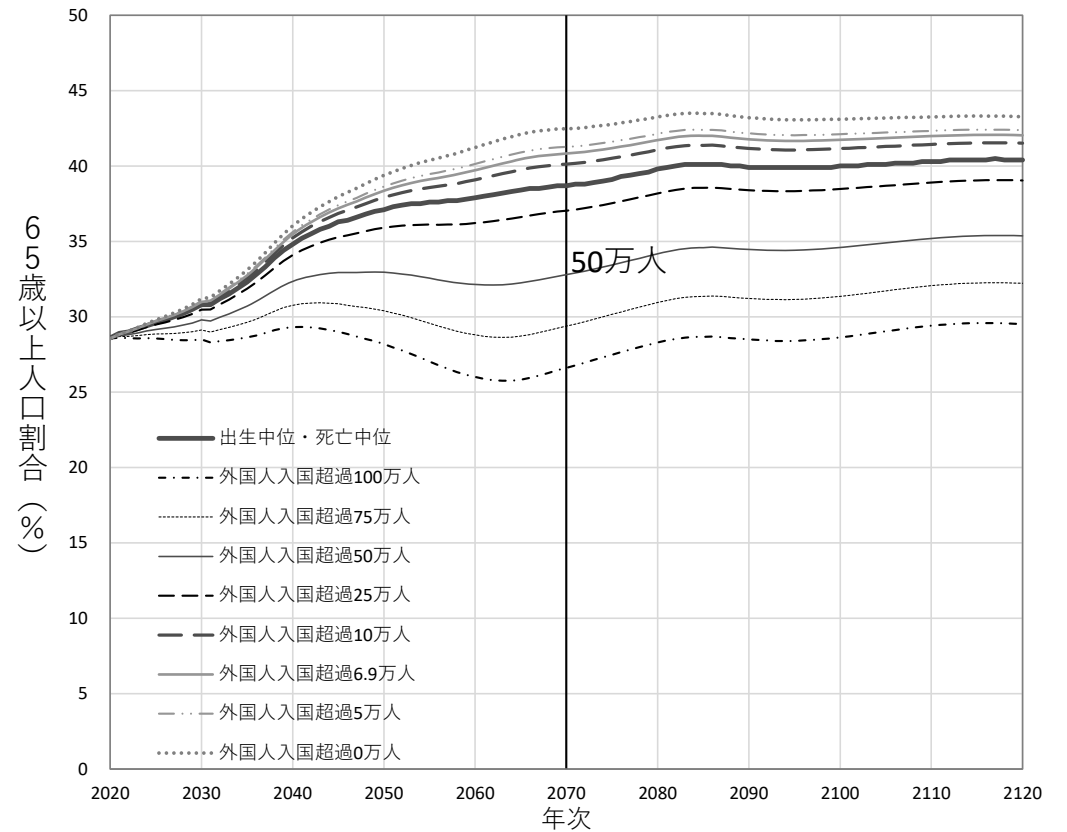


# (参考推計／感応度分析) 条件付推計： 外国人国際人口移動8水準と中位推計

総人口の将来見通し

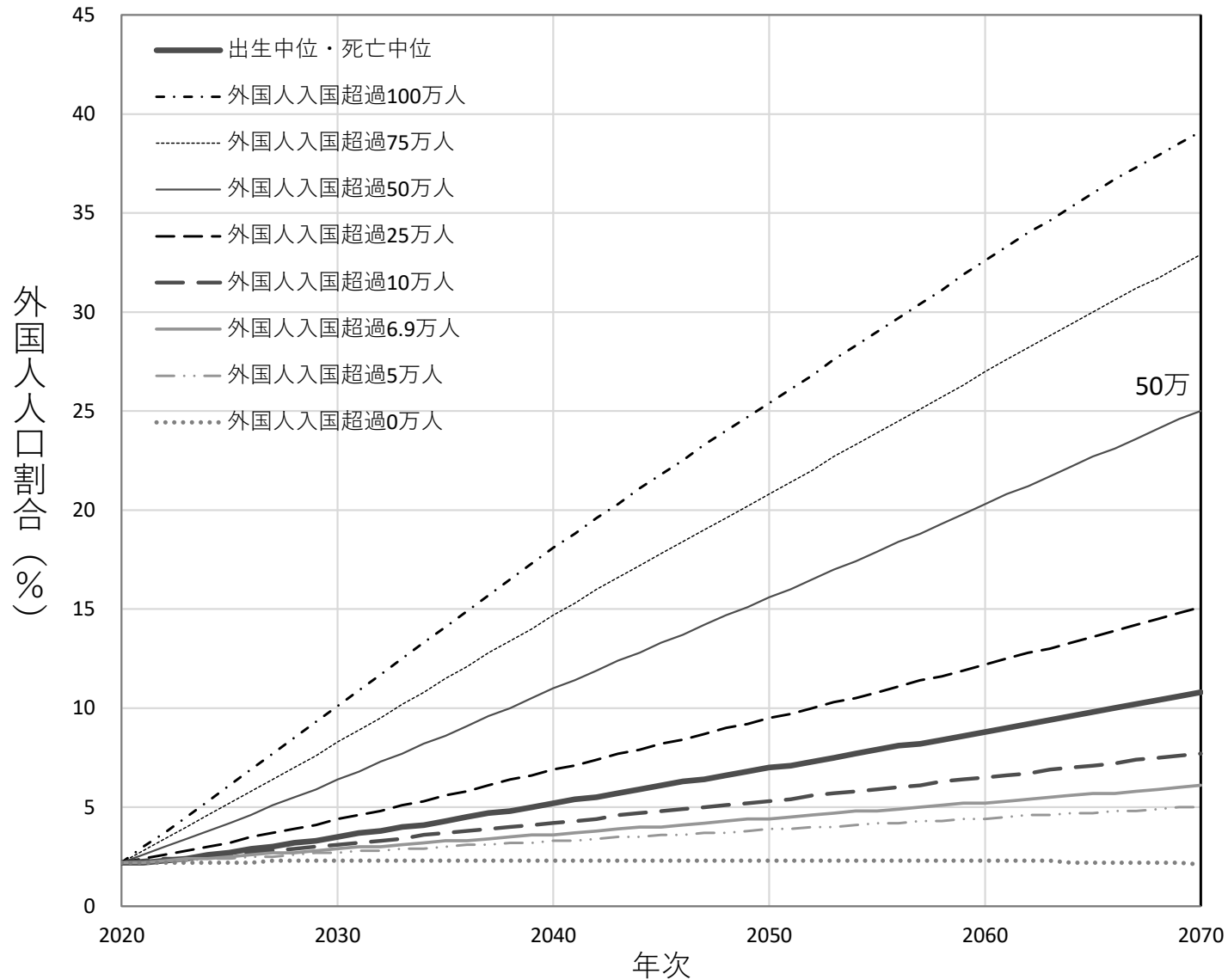


65歳以上人口割合の将来見通し





# (参考推計／感応度分析) 外国人人口割合



# 条件付推計結果のまとめ

総人口、65歳以上人口、65歳以上人口割合(総人口)：出生条件(2070年)合計特殊出生率1.00, 1.20, 1.40, 1.60, 1.80, 2.00, 2.20各推計値

年次	出生率(2070年)							基本推計 1.36
	1.00	1.20	1.40	1.60	1.80	2.00	2.20	
総人口(1,000人)								
令和2(2020)	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146
52(2070)	76,751	82,351	88,256	94,353	100,767	107,500	114,553	86,996
102(2120)	29,529	39,977	52,611	67,624	85,354	106,095	130,151	49,733
65歳以上人口(1,000人)								
令和2(2020)	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027
52(2070)	33,671	33,671	33,671	33,671	33,671	33,671	33,671	33,671
102(2120)	14,946	17,810	20,725	23,648	26,627	29,663	32,755	20,109
65歳以上人口割合(%)								
令和2(2020)	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6
52(2070)	43.9	40.9	38.2	35.7	33.4	31.3	29.4	38.7
102(2120)	50.6	44.6	39.4	35.0	31.2	28.0	25.2	40.4

各年10月1日現在の総人口(日本における外国人を含む)。令和2年(2020)年は、総務省統計局『令和2年国勢調査 参考表：不詳補完結果』による。基本推計は出生中位・死亡中位推計。

総人口、65歳以上人口、65歳以上人口割合(総人口)：国際人口移動条件(2040年)外国人入国超過数, 0万人, 5万人, 6.9万人(前回推計の外国人入国超過数の2035年における水準), 10万人, 25万人, 50万人, 75万人, 100万人各推計値

年次	国際人口移動条件(2040年)								基本推計 16.4万人
	0万人	5万人	6.9万人	10万人	25万人	50万人	75万人	100万人	
総人口(1,000人)									
令和2(2020)	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146	126,146
52(2070)	77,151	80,187	81,371	83,277	92,869	109,878	128,096	147,451	86,996
102(2120)	36,208	40,072	41,632	44,202	58,268	87,797	125,778	173,103	49,733
65歳以上人口(1,000人)									
令和2(2020)	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027	36,027
52(2070)	32,763	33,092	33,218	33,420	34,401	36,026	37,638	39,238	33,671
102(2120)	15,666	16,984	17,505	18,351	22,751	31,053	40,517	51,088	20,109
65歳以上人口割合(%)									
令和2(2020)	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6
52(2070)	42.5	41.3	40.8	40.1	37.0	32.8	29.4	26.6	38.7
102(2120)	43.3	42.4	42.0	41.5	39.0	35.4	32.2	29.5	40.4

各年10月1日現在の総人口(日本における外国人を含む)。令和2年(2020)年は、総務省統計局『令和2年国勢調査 参考表：不詳補完結果』による。基本推計は出生中位・死亡中位推計。

# 日本の将来推計人口(令和5年推計)のまとめ

令和2(2020)年国勢調査を出発点とした新推計(出生中位(死亡中位推計))の仮定および主な結果は以下のとおり。

- 長期の出生率仮定は1.44から1.36に下方改訂。2020年代は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて1.2台で推移と仮定。
- 長期の平均寿命は前回仮定からわずかに伸長(男性85年が86年に、女性91年が92年に)。
- 国際人口移動は、日本人は出国超過傾向が緩和、外国人は入国超過数が増加(年間7万人から16万人に)。
- 総人口は50年後の2070年に現在の7割に減少(1億2,615万が8700万に)。65歳以上人口はおよそ4割を占める社会に。
- 前回推計よりも出生率は低下するものの、平均寿命が延伸し、外国人の入国超過増により人口減少の進行はわずかに緩和される見込み。総人口が1億人を下回る時期は2053年が2056年に、15~64歳人口が7千万人を下回る時期は2029年が2032年に先送りに。
- 日本人の出生数は2020年に84万件、死亡数は137万件。出生数は2038年に70万件を下回り、死亡数は2040年に165万件でピークを迎える。